

年 頭 所 感

平成27年1月

一般社団法人 石膏ボード工業会
会 長 須 藤 永 一 郎

新しい年の初めにあたりご挨拶申し上げます。

旧年中は、石膏ボード工業会に対しまして、皆様方の多大なご支援とご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のわが国の経済は、一昨年後半からの消費税増税前の駆け込み需要の反動が4月以降顕著になり、種々の経済対策や円安による輸出の回復も功を奏さず、景気は落ち込んだまま推移しており、11月には消費再増税が1年半延期されることとなりました。

建設関連業界は、公共事業が、年前半、予算の前倒しや大型補正予算により増加しましたが、資材高騰や人手不足等により工事の遅れが出ており、また新設住宅着工戸数も、駆け込み需要の反動の影響で3月から10月までは8ヶ月連続の減少となり、通年では88万戸を越えたものの、前年同期比では1割減となりました。

ただし、石膏ボードの出荷量は、住宅着工とは時期のずれが生じており、6月まで前年を上回って推移し、第3四半期は前年割れに止まったものの、通年では、前年実績を若干超えた5億2千5百万㎡と、平成20年のレベルに戻りました。

本年の経済は、総選挙後の景気回復策や、補正予算の執行により、緩やかに回復に向かうものと見込まれ、住宅投資関連も下げ止まりするものの、消費増税の先送りにより、年内の駆け込み需要は期待できず、新設住宅着工戸数は昨年より若干減少し、86万戸前後と思われる。

これに伴い、石膏ボードの出荷量も、昨年よりは減少するものの5億㎡に達するものと期待しております。

弊工業会といたしましては、国産木材の活用に資するべく昨年8月に告示化された大型木造建築物向けの強化石膏ボード21mm2枚張り仕様の普及を図る他、省令準耐火構造に不可欠な厚さ12.5mm以上の厚手化製品へのシフトや住環境に快適さを提供する高機能製品のPR等を積極的に進めてまいります。

又、昨今の建物の防耐火性能に対する信頼性向上のご要請に対応すべく、昨年12月末にJISを改正致しましたが、経過措置期間を経て、9月より順次、改正JIS表示製品を市場に提供致してまいります。

従来より重点課題としております環境問題につきましても、昨年9月に国土交通省で取り纏められました「建設リサイクル推進計画2014」の実践や、講演会の開催やセミナー等への参加を通じて、廃石膏ボードの再資源化の技術開発の推進や啓発活動に尚一層取り組んでまいりますので、今後とも、倍旧のご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

今日までの長年にわたる関係各位のご理解、ご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様方のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。